

第7回 八幡市地域公共交通会議 議事録



令和5年6月5日(月)午後2時～
八幡市役所 会議室5-1

第 7 回八幡市地域公共交通会議（議事録）

日時	令和 5 年 6 月 5 日(月) 午後 2 時～午後 2 時 50 分
場所	八幡市役所 会議室 5-1
参加者	委員・オブザーバー 20 名 傍聴者 9 名 事務局 5 名

1 開会

それでは定刻になりましたので、これより第 7 回八幡市地域公共交通会議を開催いたします。現行の委員では、最後の公共交通会議となります。

本日、会場にお越しの皆様におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は本日司会を務めさせていただきます、八幡市建設産業部管理・交通課 主事の川越と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

それではまず、冒頭に当たりまして、八幡市地域公共交通会議 井上学会長よりご挨拶をいただきます。井上会長、よろしくをお願いいたします。

2 会長あいさつ

こんにちは、井上です。お忙しいなかご参加いただきありがとうございます。

委員の皆様のおかげで、昨年度、八幡市地域公共交通計画の策定に至りました。本当にありがとうございます。策定してからがいよいよ本番です。今年度は、策定した内容に基づいて進捗状況を常にチェックしながら、継続的な取り組みをしていく年です。

一方、コロナで交通事業者も大打撃を受けております。また、人口も減少になっていきます。担い手が不足することで、今まであるサービスが当たり前のようには持続できなくなる厳しい世の中になっていきます。

そういった中で、この計画の策定に当たっては、地域の皆様方のご協力なしでは実現できません。どうか地域の方と一緒に汗をかきながら、より良い公共交通を目指していければと思います。今日もよろしくお願いいたします。

3 新任委員の紹介・委嘱

※別紙委員名簿参照。

- ・福祉事務所長 森谷 岳 氏
- ・資料の確認

4 報告事項（議長：井上会長）

それでは始めさせていただきます。次第の 4 番目の報告事項（1）八幡市地域

公共交通会議の年間予定につきまして、事務局から説明をお願いします。

(田岡課長)

事務局、管理・交通課長の田岡でございます。本日はよろしくお願いいたします。それでは本年度の年間予定について説明させていただきます。資料1「八幡市地域公共交通会議の年間予定について」をご覧くださいませでしょうか。本年度は地域公共交通会議の本会議を4回、幹事会を2回予定しております。

本日の会議は、任意協議会から法定協議会に移行し、計画策定や諸課題の対応にご協力いただいた現行委員の最後の会議となっております。

本日の報告事項の6番目で取り上げさせていただきますが、この間、ずっとご協議いただいております、合意いただきました橋本西山地区のオンデマンド交通の本格運行の緒に就く段となりそうであることをご報告させていただきたいと存じます。

次回の第8回八幡市地域公共交通会議につきましては、新委員の選任後、8月中に実施する予定をしております。その際は、会長に基調講演をいただき、地域公共交通会議の基本的な考え方、共通認識をご理解いただこうと考えております。

また、次期地公会議につきましては、幹事会で課題や情報の共有、基本的な検討を行い、本会議で意思決定していただく形で、情報共有と合意形成のプラットフォームにしていきたいと思いますと考えております。

以降、第9回・第10回地公会議では、地公計画の目標達成のための施策の第1番目にある「コミュニティバスのルート・ダイヤの再編検討」について、進めてまいりたいと考えております。

今年度の年間予定については、以上でございます。

(議長：井上会長)

ありがとうございました。ただ今の説明に対し、ご意見、ご質問等はありませんか。よろしいでしょうか。

【質問なし】

それではこの計画に沿って進めさせていただきます。今年度、みなさまと十分に検討していく必要のあるテーマがたくさんあります。日頃から公共交通に見たり乗ったりして状況を確認いただきたく思います。

どうすれば皆さん方が幸せになれる移動方法が考えられるかということ、議論できれば幸いです。

報告事項の(2)八幡市地域公共交通計画における施策の進捗について事務局から説明をお願いします。

(佐野総括主任)

事務局をしております、八幡市建設産業部管理・交通課の佐野と申します。着座にて失礼いたします。

まずは八幡市地域公共交通計画における施策の進捗についてですが、資料2をご覧ください。上から順番にご説明いたします。

施策1-1、コミュニティバスのルート・ダイヤの再編でございますが、今年度、コミバスの乗込み調査を当課にて実施する予定としており、乗り込み調査の結果を踏まえまして、ルートあるいはダイヤ再編案を作成し、本会議にてお諮りする予定としております。

施策1-2、地域間移動に関する検討でございますが、本市の美濃山・欽明台地域における渋滞問題について、関係者間による協議を4月に実施いたしました。

今後もお盆やクリスマス等、渋滞悪化が懸念される時期を前に関係者間で対応の確認をしております。また、門真市で営業を開始されました大型商業施設の影響もございますので注視してまいりたいと思います。

施策1-3、住民主体型交通の実証実験等の取り組み支援でございますが、こちらについては後ほど進捗状況についてご説明いたします。

施策2-1、交通結節点の強化ですが、コミュニティバスと路線バスの乗り継ぎ停留所でありますコミュニティバスやわた大芝(東行)停留所の改良を行いたいと考えております。ベンチや乗り換え案内を設置する等、乗り継ぎ環境の改善を図ってまいります。

また施策2-2、バス停・バス待合環境の整備として京阪バスの水珀(南行)停留所を改良いたします。こちらは、幅員が狭く、バスベイもない停留所になっております。見通しも悪く、近隣の小学校の通学路にもなっておりますことから、安全対策の一環としても改良を実施したいと考えています。

改良の内容としましては、既存の防護柵を撤去し、バスベイを設置することにより、道路の見通しを改善させ、利用者ならびに歩行者の安全確保を図ってまいります。

施策3-1、企業との連携についてでございますが、こちらにつきましては市内の工業会と連携して、まずは企業側のニーズを調査してまいりたいと考えております。

施策4-1、モビリティマネジメントの実施として、バスバックヤードツアーの実施を予定しております。未就学児から小学校低学年の方を対象に営業所の見学ツアー等を予定しております。実施は夏休みの期間中を予定しております。

施策4-2、公共交通情報の発信についてですが、市内の路線図やバス等の乗り方等を明記した公共交通マップの作成を検討しております。

施策4-3、高齢者への安全運転講習と公共交通の啓発につきましては、先日京

都府交通安全協会様の主催で高齢者を対象にした交通啓発イベントを実施しました。講話やドライブシミュレーションを通じて自身の運転能力を再確認し、安全運転に繋げてもらうことを目的としたものでございますが、本イベントを通じて運転能力に不安がある方には免許返納ならびに公共交通の利用を呼び掛けております。

施策 4-5、公共交通の担い手確保については、本市の広報紙等の媒体を通じて運転士等の募集ができないか検討していきたいと考えております。またその節にはバス事業者、タクシー事業者の皆さまとは、本件についてご相談できればと思いますのでよろしくお願いいたします。

今後の地域公共交通会議におきましても随時、進捗について報告をさせていただきます。

以上、簡単ではございますが、八幡市地域公共交通計画における施策の進捗についての報告を終わります。

(議長：井上会長)

ありがとうございました。ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問のある方はお願いいたします。よろしいでしょうか。

【質問なし】

バックヤードツアーは実施時に参加者のご感想を伺ってください。多くの人数は参加できないと思いますが、このイベントで公共交通への理解が深まった、乗ってみたいと思ったなどの定性的な点が集まればと思います。また、高齢者の安全運転講習時にも、受講時にどれだけ自分の運転に自信が無くなったかとか、心配になったとか、これなら公共交通使えるかもしれないとか、個人の心の変化を集めてご報告いただきたいです。たくさんメニューがあつて大変だと思えますが、実施後に、利用されておられる方々から「よくなったね」などのお声が来ると嬉しいです。水珀・南山のバス停はやや危険だったので、広くなったことはとてもよいことです。

他、よろしいでしょうか。それでは、(3) 番、八幡市公共交通事業者等補助金) について事務局から説明をお願いします。

(佐野総括主任)

令和 4 年度公共交通事業者等補助金についてご説明いたします。資料 3 をご覧ください。前回の第 6 回八幡市地域公共交通会議でもご報告しましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中、原油価格高騰により更なる影響を受けている公共交通事業者等に対する助成制度を創設いたしました。交付対象は市内に本社あるいは営業所を有するバス事業者の皆様とタクシー事業

者の皆様になります。タクシー事業者の中には個人タクシーも含まれます。助成内容は、補助対象期間内に購入した燃料の購入単価に対し、市が定めた基準額を差し引いた額を対象経費とさせていただきます。

この対象経費に対して購入した量に乗じた額を補助金として交付させていただいております。

交付実績としましては、7件の申請がございまして、総額3,652千円を交付しております。報告は以上となります。

(議長：井上会長)

はい、ありがとうございます。ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

(稲留委員)

京都運輸支局です。意見というか、お礼なのですが、今回、八幡市さんをはじめ、オブザーバーでお越しの枚方市さん、京田辺市さん、久御山町さんも含めまして、こういった国の交付金を公共交通に当てていただくということで、いろいろとご検討なり、実際に実施していただいたということ、様々な行政の需要がある中で、公共交通を支えていただいたということで、運輸支局としても大変感謝しているところでございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

コロナについては、いよいよ快方に向かっておりまして、緊急事態というものは平時に戻っていくものと思われれます。この緊急の段階では行政の方が主に何とかということで支援していたのですが、今後平時に戻るとということで、冒頭の先生のご挨拶にもあったように、地域全体で何とか持続可能なものにしていくという段階に入ってきたんだろうと思っています。まさしくそういう段階で、八幡市さんに交通計画も策定していただきましたし、これから私もこの会議の一員でございまして、一緒になって持続可能な形を考えていきたいというふうに思っておりますので、感謝申し上げますとともに、今後共よろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

(議長：井上会長)

事務局から何かありますか。

(佐野総括主任)

大丈夫です。ありがとうございます。

(議長：井上会長)

他、いかがでしょうか。そうしましたら、次の議題に移らせていただきたいと思いをします。

次は(4) タクシー運賃の改定につきまして、タクシー協会から説明をお願いします。

(上田委員)

すみません、タクシー運賃の改定について、資料 4-1 と資料 4-2 をご覧ください。

紹介遅れました、私、京都府タクシー協会の上田と申します。よろしくお願いします。

今回、料金改定がございました。令和 5 年 5 月 1 日から、京都府と大津市で料金改定がございまして、京都市域の改定率が 14.95%、資料 4-2 に現行、5 月 1 日から実施している料金になります。何故、料金上げさせていただいたかと言いますと、コロナ禍で京都府のタクシー会社が 6 社潰れました。従業員の労働条件の改善という前に、会社が健全な経営ができていないということで、会社がちゃんと健全な経営の水準が保てる運賃を設定するという考え方に基いて料金を改定させていただきました。5 月 1 日から現行、この料金で運営させていただいているが、今のところ乗り減りは出ておりません。

私は宇治を担当しているのですが、宇治の方では前年対比 120%となっております。

やっと経営が保てる水準と言いますか、プラマイゼロに近い水準まで 5 月度は何とか戻ったのですが、これから梅雨時期どうなっていくか、動向を見ながらになります。料金は我々が変えることができないので、運輸支局さんをお願いして、料金改定を行ったので、原資が決まっている以上、どういうふうに事業者自身が運営していくか決めて、また改定していかなければいけない作業になります。以上です。

(議長：井上会長)

ありがとうございます。ただ今の説明に対して、何かご意見、ご質問はありませんか。よろしいですか。

【質問なし】

一般の方々からタクシーの運賃が高い、バスや電車も運賃が高いと、よく感覚では言われるのですが、それでもしっかりした収益にはなっていなかったということでの運賃値上です。サービスが無くなってしまったら、移動できなくなりますので、適切な運賃をいただいて、私たちも適切なサービスの対価を支払うということで、維持して行けたらと思います。

また、新たな雇用の確保につながっていければ助かります。

よろしいでしょうか。そうしましたら次の議題です。(5) 委員改選について、事務局から説明をお願いします。

(田岡課長)

それでは、8月以降の新委員の選任について、ご説明申し上げます。資料5「地域公共交通会議委員の委員改選について」をご覧ください。

委員は、地域公共交通会議設置要綱に基づき、学識経験者や公共交通事業者、行政機関等の委員区分ごとに委員選任を進めております。

まず、ご確認いただきたい点がございまして、要綱上は委員の任期は2年としておりますが、委員構成の面から運営上、任期の調整を行い、次期委員につきましては、2年目に入って最初の年度末になる令和7年3月31日までとさせていただきますと存じます。

今回の委員選任に際しては、住民や利用者の代表者枠としての市民委員の充実を図る考えでございまして、

市民公募2名とこれに加え、子ども子育て会議委員から子育て世代の代表者、通学利用者として摂南大学に通学する学生にターゲットを絞って、計4名の委員を選任したいと考えております。

スケジュールにつきましては、6月に国・府・府警等各機関や団体の皆様に委員就任の依頼を行い、7月に委員の決定、8月に新会議を実施してまいります。

新会議の委員選任については、以上でございまして、

(議長：井上会長)

ありがとうございます。ただ今の説明に対して、何かご意見、ご質問等ありましたらよろしくをお願いします。よろしいでしょうか。

【質問なし】

住民、利用者の代表の方が2名増えるというのが最大の特徴で、その中でもこれから公共交通を担っていただけることが期待される子育て世代の方々、それと大学生の方で摂南大学さんです。バスでアクセスすることが多い、学生さんの多いところですね。個人的にはくずは駅前のバス乗り場が変わって、皆さんどんな感想かなど。私はわかりやすくなったと思っておりますが、率直な利用されている方の意見を伺えればと思います。

次に報告事項(6)橋本西山地域オンデマンド交通について、事務局からお願いします。

(佐野総括主任)

橋本西山地域オンデマンド交通についてご報告いたします。資料 6-1 と 6-2 をご覧ください。

まず橋本西山地域オンデマンド交通についてご説明いたします。

橋本西山地域オンデマンド交通は、橋本および西山地域の丘陵地にお住まいの方が、同地域住民の移動手段の一つとして、地域間移動およびバス停留所までのラストワンマイルとして行う自家用有償運送事業になります。

運行主体は NPO 法人道しるべ様になります。同法人の会員のうち、利用登録した方を対象としたサービスになります。運行地域は橋本地域および西山地域内に限定しております。利用料金は 400 円を予定されています。

これまで橋本西山地域オンデマンド交通につきましては、本会議において協議いただいております。昨年 9 月、京阪バス様、京都京阪バス様、京都府タクシー協会様、NPO 法人道しるべ様にて運行範囲や実績報告を行うという内容の確認書の締結を受けて、委員皆さまからの合意をもって、同年 10 月に本会議の合意書を NPO 法人道しるべ様に交付したものです。

現在、運輸支局への許可申請を行っているところではございますが、申請手続きに必要な申請書類の準備に時間を要しております。道しるべ様からは書類準備は最終段階に入っており、令和 5 年 6 月中にも運輸支局への正式な申請をもって今月中には運行を実施する予定と伺っております。報告は以上となります。

(議長：井上会長)

ありがとうございました。ただ今の説明に対して、何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。よろしいですか。

実際のところ、6 月中に実施できそうですか。書類はほぼ整っていますか。

(藤作氏：岡本委員の随員)

京都運輸支局様に提出する書類が 1 点だけまだ整っていません。

その 1 点が、役員変更に伴う法務局への届出書が、まだ最終、私たちのところへ下りて来ていません。それも今週初めごろには一応、ご要望の書類として提出を完了しておりますので、追っ付けそれが手元に届き、その書類を添えて最終の届け出を運輸支局様の方に出し、そういう意味合いを込めて、6 月の実際の運行に結び付けたい、それが我々の今の状況です。以上です。

(議長：井上会長)

他、いかがでしょうか。

ドライバーさんたちの調整はできているのですね。

(藤作氏：岡本委員の随行)

はい、ドライバーは 9 名確保しております、道しるべと個人との契約の締結は完了しています。

(議長：井上会長)

6月の予定とは言いますが、あまり焦ってサービスを開始するよりは、しっかり確実にやっていただければと思います。

システム開発をお願いすると 100%の状態が出てくることはありません。後から修正を重ねて、100%に近づけていくのです。リリース後に修正していくのが常です。公共交通は 120%以上、絶対に安全だということを保障して、準備してから運行開始です。

安心・安全が一番ですので、慌てて何か起こるといのは一番良くないことですので、その点だけは慌てずをお願いしたいと思います。

(藤作氏：岡本委員の随行)

その点だけは重々注意して行きたいと思います。

(議長：井上会長)

はい、よろしくお願いいたします。他、よろしいでしょうか。

そうしましたら、報告事項としては以上となりますので、マイクは事務局へお返しします。ありがとうございました。

(川越主事)

それでは次に、本日ご参加いただいておりますオブザーバーの市町の皆さまから、ご報告があればよろしくお願いいたします。

まず枚方市さん、よろしくお願いいたします。

(枚方市・佐々木課長)

ありがとうございます。隣の枚方市からやって参りました、交通対策課の課長をしております佐々木と言います。着座にて失礼いたします。

今日、初めて八幡市さんの公共交通会議に参加させていただきました。やはり、交通というのは市域だけに留まることなく、多分、皆様、枚方市域の樟葉駅

とかもたくさん利用していただいていると思います。なので、こう言った会議に誘っていただいて、来させていただけるというのは本当にありがたいと思っています。他の市町村では誘っていただけませんので、私、傍聴として参加しているくらいです。八幡市さんとは今後も連絡を密にさせていただけたらと思っています。情報提供ということなのですが、今、例えば会議の中でタクシーの値上げの話がありました。大阪地区におきましても同じ話、今出ております。八幡市民の方々、安心してください。大阪も値上げの方向です。

やはり公共交通はどの市町村も同じ悩みを抱えております。やはり交通って使わなければ無くなってしまふ。でも不便だと使わないという、多分利用者の方々、ずっとジレンマだと思います。

私、公共交通増やしてくださいとよく要望受けるのですが、来られた方に必ず聞くようにしているのが、「今日、ちなみに何で枚方市に来られましたか」と聞くようにしています。

すると皆さん、ハッと気が付いて「車です」と言われるんですね。「では今後、公共交通の要望に来られる際には、公共交通をご利用でいらしてくださいね」とお話をさせていただいております。枚方市では公共交通利用促進事業ということをして10年以上続けておりまして、まず1つはこういう路線バスのバス網を書いた路線マップを作って、市内に転入された方には必ずお配りするようにしています。あと、公共施設に配架してありますので、もし見かけたら、手に取っていただければと思います。後ろにも書いてあります、交通すごろくというのを作ったりして、利用促進啓発を子供たちにもしております。枚方市も総合交通計画を持っていて、その計画の中で4~5年前ですかね、すごく反対意見があったのですが、そこを通して理念のところ、「少しの負担と不便を分かち合いながら」という言葉を入れさせていただきました。これはかなり会議の中でも、行政計画の中に、「不便」とか「負担」とかいう言葉を入れるのかと議論になりましたが、そこは私たち事務局、頑として譲らず、入れてもらったということになりました。やはりこれからはそういうことをしながら、よりいい社会になっていくように、皆様が行動を変えて行くというのが一番大切なのかなと思って枚方市の方で交通行政をさせていただいております。

最後になりますが、今、ちょっと流行っているポスターがあります。私、今、交通安全の方も担ってまして、信号のない横断歩道で、手を挙げて、きちっと意思表示して安全に渡りましょうというキャンペーンをやっています、この絵を描いたラッピングバスが1台、市内を走っております。おそらく八幡市域にも入ってくると思います。1台しか走ってませんので、見たら必ず幸せになれると思って、皆さん写真等々SNSで発信していただければと思います。

また、このポスターを、京阪電鉄さんのご協力をいただいて、春の全国交通安

全運動の期間中に、枚方市駅の改札口、真正面の一等地を確保させていただいて、駅ジャックというのを行いました。こういう交通安全の取り組みでもバスをラッピングバスにしたり、駅にポスターを掲示したり、公共交通事業者さんと連携した取り組みというのを進めて、皆様に公共交通も大事だけど、交通安全も守っていただきながらということが続けております。

長くなりましたが、枚方市よろしくお願いたします。以上です。

(川越主事)

ありがとうございました。それでは次に京田辺市さん、よろしくお願いたします。

(京田辺市・小西係長)

京田辺市の小西と申します。よろしくお願いたします。

京田辺市なのですが、今年度、令和5年度も許す限り公共交通を活性化したいという思いを持っておりまして、取り組みも様々予定しております。

昨年に引き続きまして、路線バス無料の日というのを実施したいと思っております。

あと、京阪バスさん、京都京阪バスさんの関係ですと、ICOCAのバスポイント付与事業というのを今年度も予定しております。あとは、燃料費高騰の影響緩和事業についても6月議会で計上予定しているところです。

それ以外に本市の方も今年度から、地域公共交通計画の策定に取り組みつつありまして、昨日も区とか自治会との意見交換会やアンケート調査を実施し始めています。

今、枚方市さんも仰いましたけれども、京阪バスさんの路線で枚方市さんも八幡市さんもつながっておりますので、或いは京都京阪バスさんの路線で久御山町さんともつながっておりますので、計画の策定に当たってはバス事業者さん、鉄道事業者さん、タクシー事業者さんもそうなのですが、近隣市町の皆さんと連携しながら、より実りのある計画にしていきたいと考えております。以上です。

(川越主事)

ありがとうございました。それでは次に久御山町さん、よろしくお願いたします。

(久御山町・武田課長)

失礼いたします。久御山町の公共交通を担当しております新市街地整備課課長の武田でございます。よろしくお願いたします。

久御山町におきましては、久御山町にも久御山町地域公共交通協議会がございまして、先般、5月15日に開催いたしました今年度の事業を改めて決定をしたというところでございます。昨年度につきましては、久御山町におきましては鉄軌道のない町ということで、バス並びにタクシーへの依存度が高いところでございます。

その中で、公共交通の利用者の改善を図るためにバス停の環境改善としてベンチを設置させていただいたり、これは二台の方の設置させていただきました。

また、イオンモール久御山の方でバスターミナルがございしますが、そちらの方の行き先の方をわかりやすくしていくための路面標示をし、バス利用者の更なる利用促進というところにつなげていきたいというふうに思っています。

また今後におきましても、各事業者さんの方と協議をさせていただいて、公共交通の利用者の改善の方を少しでも推進していきたいというふうに思っております、協議の方も続けさせていただいているところでございます。

また、八幡市さん同様に、久御山町におきましても中学生、高校生を対象とした通学に関するアンケートであったりとか、小学生を対象とした、バス事業者さんと連携した、小学生のうちから、バスを身近に感じ、乗ってみたいくなるような施策も取り組んでいきたいと思っているところでございます。

また、今年度におきましては、久御山町の地域公共交通計画の最終年度ということになりますので、その総括を踏まえて、今後の方向性についても考えていきたいというところでございます。

以上、情報共有ということで報告させていただきます。ありがとうございました。

(川越主事)

ありがとうございました。市町の皆さまのご報告、大変参考になりました。今後とも情報共有をよろしく願います。

(西村副市長)

すみません、副会長の西村でございます。

今回のこの委員では、私も途中からだったのですが、計画を作ってくださいということで、様々な形でワーキンググループとかで議論いただいて、計画をとりあえず作ることができました。先ほどもありましたけれども、これからその計画に基づいて事業していくという段階に入りますので、次回の委員を選考して、次の取り組みですけど、幹事会という形で、具体的な取り組みを議論して、作っていただいたものをこの場でお諮りして進めていきたいと思っております。

また、計画でありましたけれども、路線バスの時間変更とかルートとか、難し

い問題も抱えておりますし、すぐにはなかなか難しいかもしれませんが、様々な皆様方の意見を踏まえて、引き続きこれから計画に基づいた事業が1つでも前に進むように取り組んでいきたいと思っています。

先ほど、枚方市さんの方で紹介していただいたマップ、6月の補正予算で八幡市の方も作ることにしましたので、後ろを見たら議員さんも居られますので、また予算の方もよろしく願いたいします。以上でございます。

計画策定も踏まえ、ありがとうございます。

それでは閉会に当たりまして、井上先生に本日のまとめをお願いしたいと思います。

(議長：井上会長)

今日の議題ですが、地域公共交通計画の記載事項に基づいて着々と実施する時です。やり方はいろいろあります。やることは決まっていますが、どうやってやるかというのはこの会議で議論していきますので、こんな方法があるとか、もう少しこうしたら上手くいくとか、ご意見がいただけると助かります。

そして、今年度の大きな取り組みは橋本・西山地域オンデマンド交通です。地域の方が汗をかいて、移動手段を確保するというのは、中山間地域ではよく見られましたが、この人口が一定規模あるけれども、公共交通が不便で、高齢化が進行している地域でやられるというのは、珍しい事例です。これは、みなさんと長いこと議論してきたように、安いタクシーを走らせるのではなく、公共交通に乗り継ぐのにとっても不便だから、ラストワンマイルとしての機能である。そして、地域内の移動をサポートしていくという、鉄道、バス、タクシーではサポートできないところをこの新しい手段で移動して、そしてまた幹となる公共交通につなげていくことが期待されております。そこを進めていただけますよう、よろしく願いたいします。

また、今日、近隣の市町さんから様々な方法を教えていただきました。とりわけ、今年度は公共交通マップを作られるということで、ぜひ、先行されている枚方市さんの事例を参考にさせていただいて、やっていければと思います。八幡市の特徴というのは、八幡市単独で生活するだけではなく、府域を超えて枚方に行かれる方も多い。これも八幡市の特徴ですので、このマップについても行政界に限定されない、皆様方が行くところをカバーいただくと大変使いやすいものになると期待します。全ての情報を載せるのは大切なことですが、本数の多いところが目立つようにして、より見やすいものを作り、枚方市さんに教えていただいたように、転入者の皆さんにも配布していくというのも1つの方法だと思います。

また、一昨年から地域公共交通計画の策定、本当にありがとうございました。委員の皆様方のおかげで、この八幡市の特徴がしっかり反映されている計画に

なっています。今年度で変わられる委員の皆様、本当にありがとうございました。大変いいものができましたので、これから実行していくいく 5 年間のスタートです。本当にありがとうございました。

(川越主事)

井上先生、ありがとうございました。

以上で本日の議事は終了となります。

それでは、これにて第 7 回八幡市地域公共交通会議を終了いたします。

本日はありがとうございました。